

開発途上国の薬事行政官が 富山大学和漢医薬学総合研究所および附属病院薬剤部を訪問

国際協力機構（JICA）が7月上旬から8月上旬にかけて開発途上国を対象に実施する研修「適正な医薬品の供給・品質管理・使用に向けた薬事行政」に参加するため、アフリカやアジアの6カ国から研修員が4年ぶりに来日しています。研修のハイライトとしてくすりの富山を訪問し、富山県における医薬品産業の振興、配置薬の取組、伝統薬の活用等について学びます。

本研修は開発途上国の薬事行政官および基幹病院の薬剤師を対象に、日本の医薬品行政に関する法整備、審査体制、安全対策、監視指導体制等を学び、各国の薬事関連制度の体制整備や政策強化に貢献することを目的として実施されています。

研修は英語で実施されますが、通訳を通して各国研修員への取材が可能です。ぜひご検討ください。なお、取材いただける場合は、お手数ですが7月25日(火)までに下記へ事前連絡をお願いいたします。

スケジュール

日程：7月27日(木) 10:00-16:00

場所：富山大学和漢医薬学総合研究所、富山大学附属病院薬剤部

講師：早川芳弘氏（富山大学民族薬物資料館館長）、加藤敦氏（富山大学附属病院薬剤部長）

研修内容：富山大学和漢医薬学総合研究所/民族薬物資料館視察、和漢調剤の病院薬剤部視察

参加者：JICA 研修員6名 + 関係者数名（研修実施機関である国際厚生事業団関係者及び通訳）

JICA 研修員内訳：バングラデシュ、ブラジル、エジプト、インドネシア、ラオス、東チモール

<研修概要>

研修期間：2023年7月6日～2023年8月11日

研修実施協力機関：公益社団法人 国際厚生事業団（JICWELS）

【本件に関する問い合わせ先】	
JICA 東京センター 人間開発・計画調整課 平野 TEL：03-3485-7469 E-mail：Hirano.Shiho@jica.go.jp	JICA 北陸センター 業務課 三宅 TEL：076-233-5931 E-mail：Miyake.Nobuko@jica.go.jp